

福 智 町

(中間見直し)

健 康 増 進 計 画

～安心して幸せに暮らせるまち ふくち をめざして～



令和6年3月

福智町



はじめに



～ 安心して幸せに暮らせるまち ふくち
をめざして ～

福智町では、乳幼児から高齢者までみんなが健やかで安心して暮らせる町を目指し、平成29年3月に「福智町健康増進計画」を策定し、「安心して幸せに暮らせるまち ふくち」を基本理念として皆さんと一緒に健康づくりの推進に取り組んでまいりました。



この間、少子高齢化の進展や、ライフスタイルの多様化など社会環境は大きく変化し人々の生活習慣にも影響を与え、様々な生活習慣病の発症につながっています。

また、近年の新型コロナウイルス感染症の影響によって、生活様式や健康に対する意識にも変化が生じており、今後は、生活習慣病だけでなく、社会情勢等の変化に伴う多様な健康課題を解決していくため、これまで以上に地域における活動や健康づくりの支援体制が求められています。

このような中、これまでの取り組みについて評価を行い、新たな健康課題や社会情勢などを踏まえた総合的な健康づくりを進めるため、本計画の見直しを行いました。

今後も、一人ひとりが健康づくりに取り組んでいただくとともに、家庭・学校・地域・関係機関等と連携を図りながら、「安心して幸せに暮らせるまち ふくち」を目指して、さらなる健康増進のため、計画の推進に取り組んでまいります。

結びに、福智町健康づくり推進協議会の皆様をはじめ、本計画の見直しにご尽力いただきました関係機関並びに関係者の方々に深く感謝申し上げます。

令和 6 年 3 月

福智町長 黒土 孝司



○ 目次

第1章計画の見直しにあたって

1	計画見直しの背景	1
2	計画の位置づけ	1
3	計画の期間	2
4	計画の推進	2

第2章 福智町の現状

1	位置と地勢	3
2	人口・世帯の状況および将来人口	
(1)	人口・世帯数の推移	4
(2)	人口構成	5
(3)	合計特殊出生率	5
(4)	出生数及び出生率	6
(5)	高齢化率	6
3	疾病・医療費の動向	
(1)	疾病の状況	7
(2)	生活習慣病の状況	7
(3)	医療費の推移	8

第3章 計画の基本的な考え方

1	計画の基本理念とめざす姿	9
2	ライフステージに応じた目標	9
3	計画見直しにおける取組の評価	10

第4章 ライフステージ別の評価・計画

1	妊娠・乳幼児期	
(1)	現状と課題	11
	関連データ	12
(2)	ライフステージ別評価と目標値	13
2	児童・生徒期	
(1)	現状と課題	14
	関連データ	15
(2)	ライフステージ別評価と目標値	16
3	成人期	
(1)	現状と課題	17
	関連データ	18
(2)	ライフステージ別評価と目標値	19
4	高齢期	
(1)	現状と課題	20
	関連データ	21
(2)	ライフステージ別評価と目標値	22

福智町健康づくり推進協議会委員名簿	23
-------------------	----

第1章 計画の見直しにあたって

1 計画見直しの背景

福智町健康増進計画は、国の「21世紀における国民の健康づくり運動（健康日本21（第2次））」や、福岡県の「福岡県健康増進計画（いきいき健康ふくおか21）」のもと、平成29年度から令和8年度の10年間の計画で策定されました。

この間、令和元年度末からの新型コロナウイルスの流行による社会情勢の急激な変化などにより、当初策定した計画と実際の数値との間に大きな齟齬が生じている状況となっています。

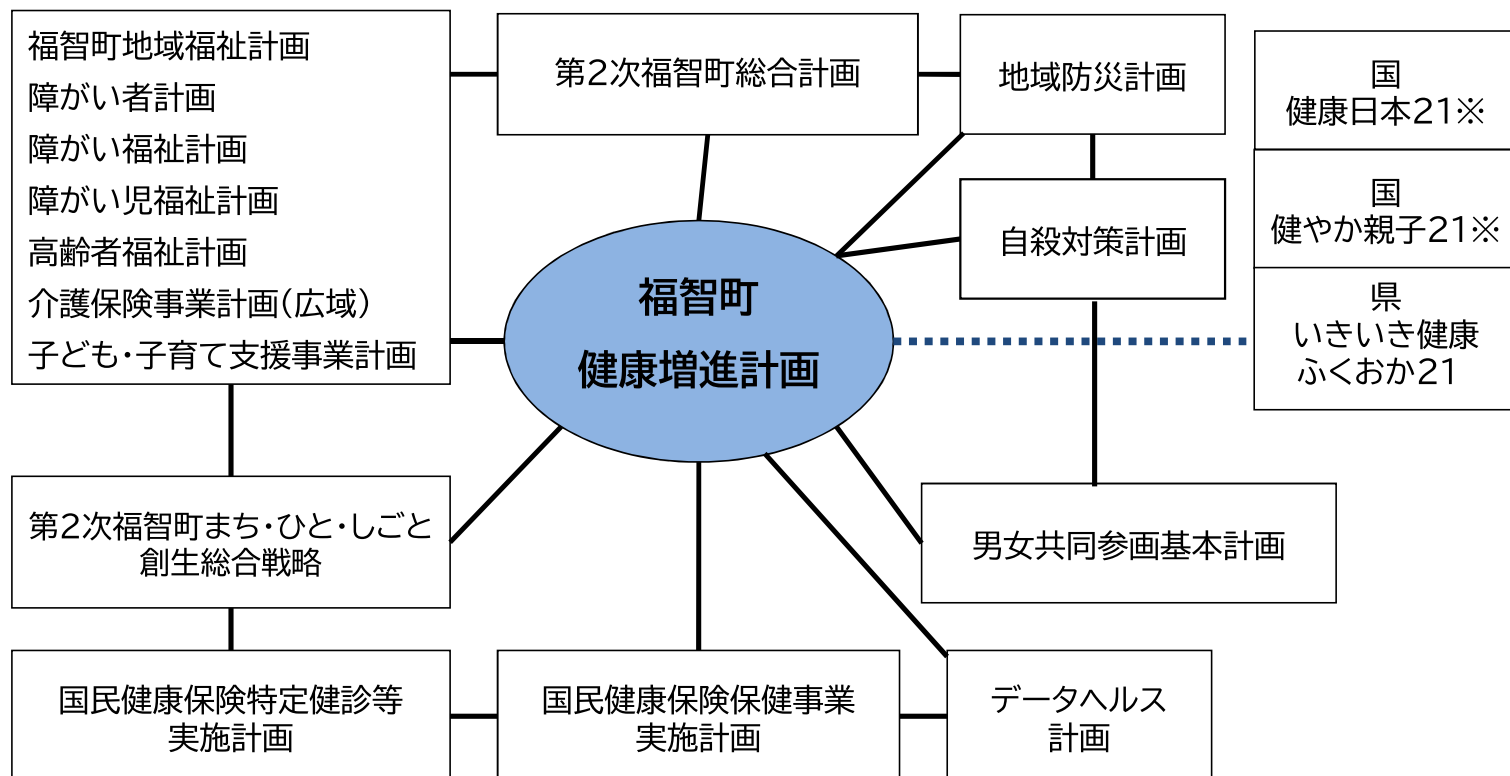
そこで今回、計画上の数値と現在の数値との比較を行い、現在における福智町の状況と問題点を確認し、計画の見直しを行うこととなりました。

2 計画の位置づけ

本計画は、健康増進法第8条第2項に規定する「市町村健康増進計画」にあたる計画で、町民の健康の増進の推進に関する施策についての基本となる計画です。

また平成29年に策定した本町の「第2次福智町総合計画」では、基本方針の一つとして「誰もがいつまでも健やかに暮らせるまちづくり」を掲げており、このことから健康づくり分野を担う計画となっています。

計画の見直しにあたっては国の「健康日本21」や県の「福岡県健康増進計画」を勘案するとともに、本町の他の分野の計画との整合性を図りながら見直しを行うものです。



※健康日本21・・・21世紀において、日本に住む一人ひとりの健康を実現するための新しい考え方による国民健康づくり運動のこと

※健やか親子21・・・「すべてのこどもが健やかに育つ社会」の実現を目指し、関係するすべての人々、関連機関・団体が一体となって取り組む国民運動のこと

3 計画の期間

本計画の期間は平成29年度から令和8年度までの10年間となっています。

実施状況の把握や基本データの集積等については随時把握に努め、計画の進捗状況や社会情勢をふまえながら、令和8年度に最終評価を行いその後の計画等の推進に反映させます。

年度	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
福智町健康増進計画	福智町健康増進計画期間									
	策定						評価 見直し			評価 見直し

4 計画の推進

(1) 計画の普及・啓発

福智町健康増進計画について、町のホームページや広報等に掲載するとともに、庁内の関係部署や関係機関と連携しながら計画の普及啓発に努めます。

(2) 各課の連携

庁内の関係部署での健康づくり施策についての連携・協力関係を密にし、計画の推進に努めます。

(3) 関係機関・団体との連携

「健康づくり推進協議会」を活用し、県、学校、地域、職域、家庭、その他関係団体等との連携を図りながら、計画を推進していきます。また協議会において本町における健康づくりのあり方について広く意見を求めるとともに、計画の進行管理、評価及び次期計画の策定等に関して協議を行います。

(4) 計画の進捗管理

計画の推進にあたっては、健康子育て支援課が事務局となり本計画の進捗状況を把握します。また、今回の見直しにおいて、数値目標により進捗状況の点検、評価を行い、最終評価に向けての準備を行っていきます。

第2章 福智町の現状

1 位置と地勢

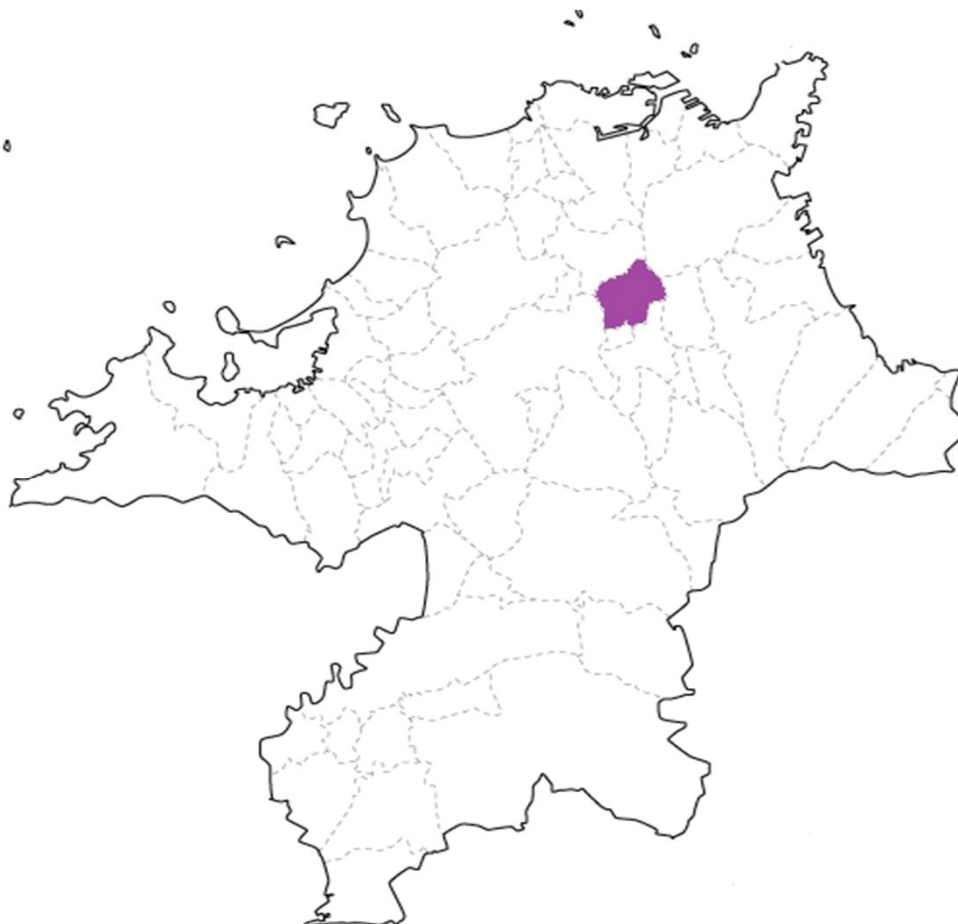
平成18年3月6日に旧赤池町・旧金田町・旧方城町の三町が合併して「福智町」が誕生しました。

福智町は、福岡県の中中部から北東よりに位置し、直方市・北九州市・香春町・田川市・糸田町・飯塚市と隣接しています。総面積は42.06平方キロメートルで福岡・北九州市の両政令都市の中心からそれぞれ約45キロメートル、約35キロメートルの距離にあります。

町の中央部で彦山川と中元寺川が合流し、貫流しています。標高901メートルの秀麗な福智山がそびえ、その山頂一帯は北九州国定公園に指定されるなど緑豊かな自然環境に恵まれています。

高さ25メートルの滝が小溪谷をなす上野峡の近くには400年以上の伝統を誇る国指定伝統的工芸品「上野焼（あがのやき）」の窯元が点在し、陶芸の里となっています。

福智町の位置図



2 人口・世帯の状況及び将来人口

(1) 人口・世帯数の推移

福智町の人口は、令和2年度の国勢調査時点で21,398人、世帯数は8,519世帯となっています。平成7年度の国勢調査と比較すると、人口は27,031人から5,633人減少しています。世帯数は、核家族化の進行等により平成22年度までは増加していましたが、令和2年度は平成7年度の8,687世帯から168世帯減少し、平成22年度のピーク時より479世帯減少しています。1世帯あたりの世帯人員は、平成7年度の3.11人から2.51人まで減少しています。

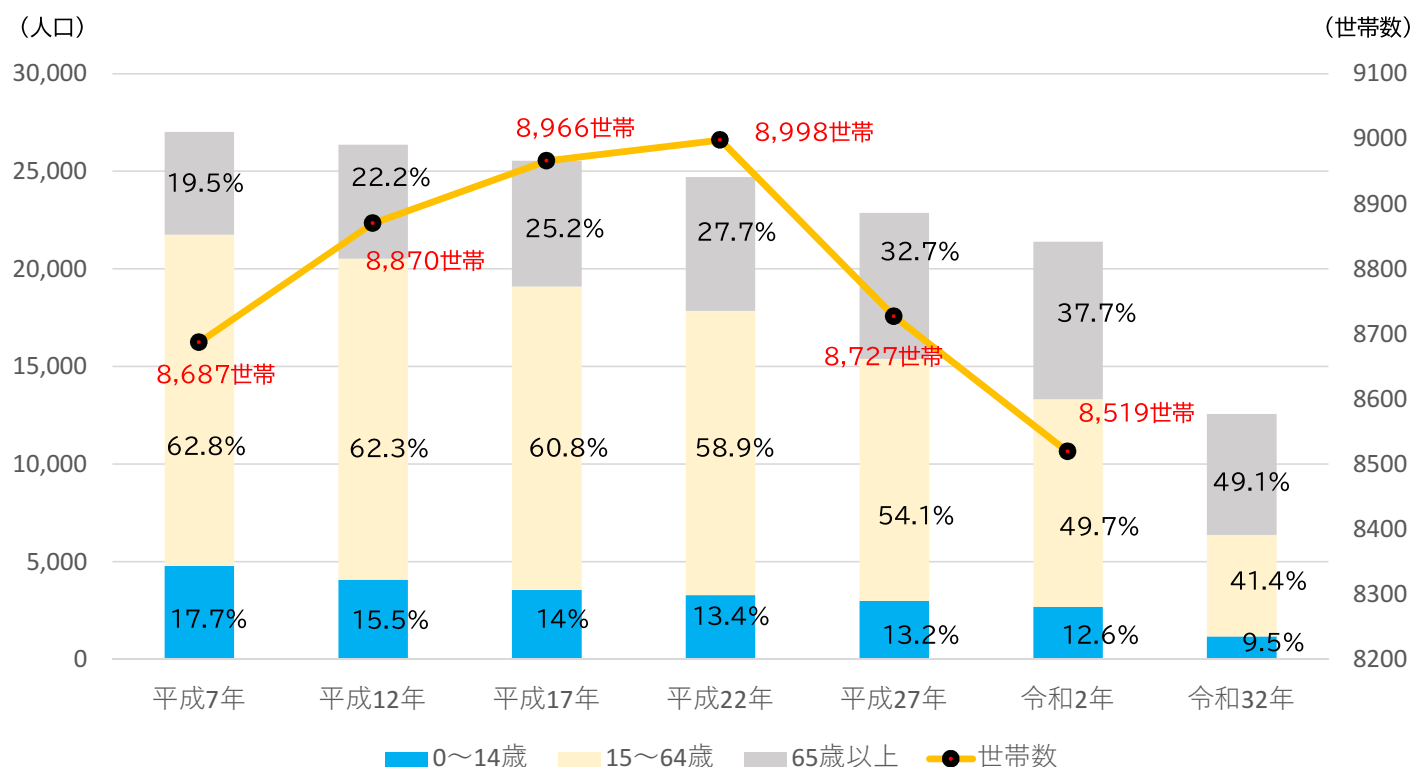
年齢別三区分別人口については、65歳以上は増加していますが、15歳未満人口、15～64歳人口ともに減少しています。

人口構成の推移

単位:人

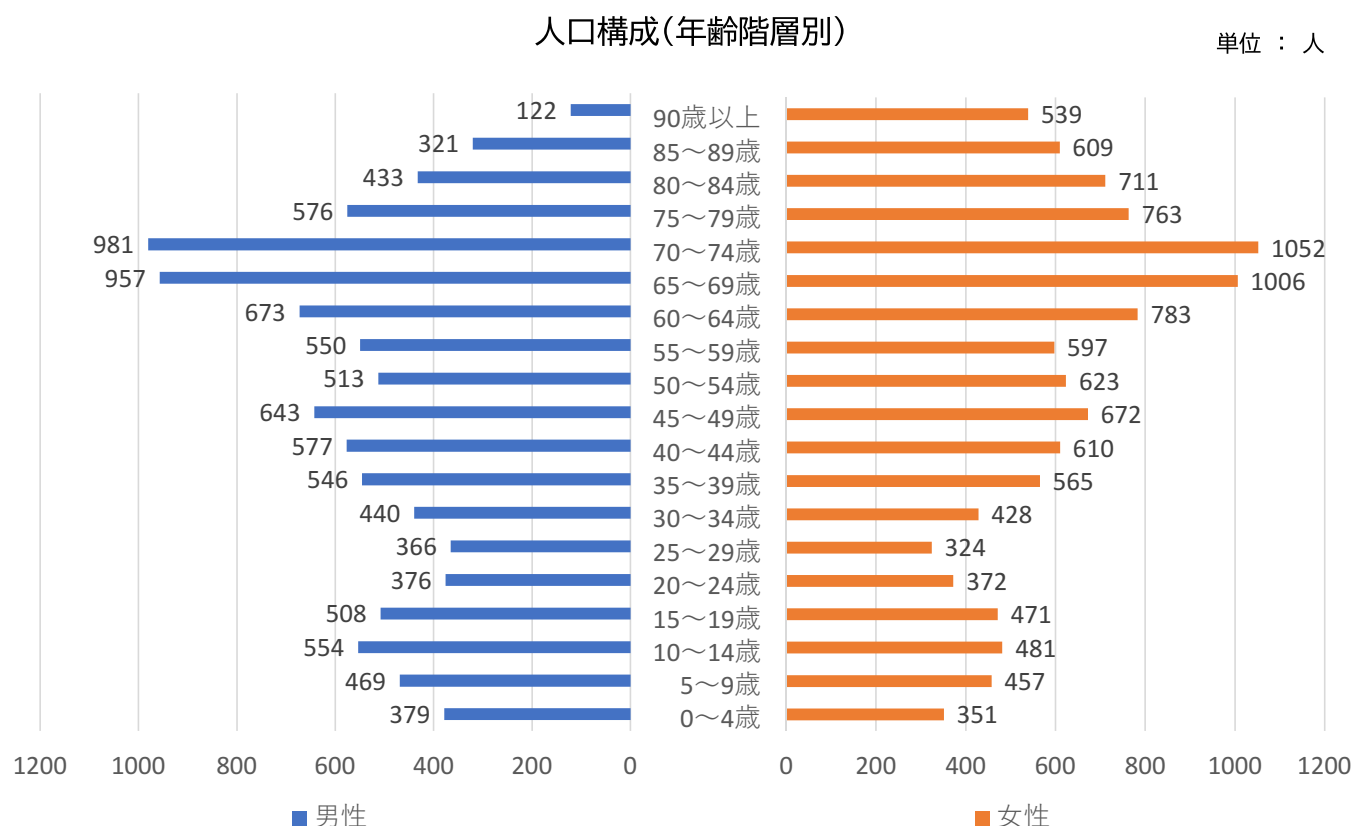
	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年	令和32年
総数	27,031	26,375	25,543	24,714	22,871	21,398	12,586
0～14歳	4,795	4,085	3,566	3,302	3,010	2,691	1,185
15～64歳	16,971	16,438	15,535	14,552	12,382	10,640	5,194
65歳以上	5,264	5,849	6,442	6,860	7,479	8,067	6,207
世帯数	8,687	8,870	8,966	8,998	8,727	8,519	
1世帯あたり人員	3.11	2.97	2.85	2.75	2.62	2.51	

(令和2年までは国勢調査。令和32年は国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口／令和5年12月推計値」)



(2) 人口構成

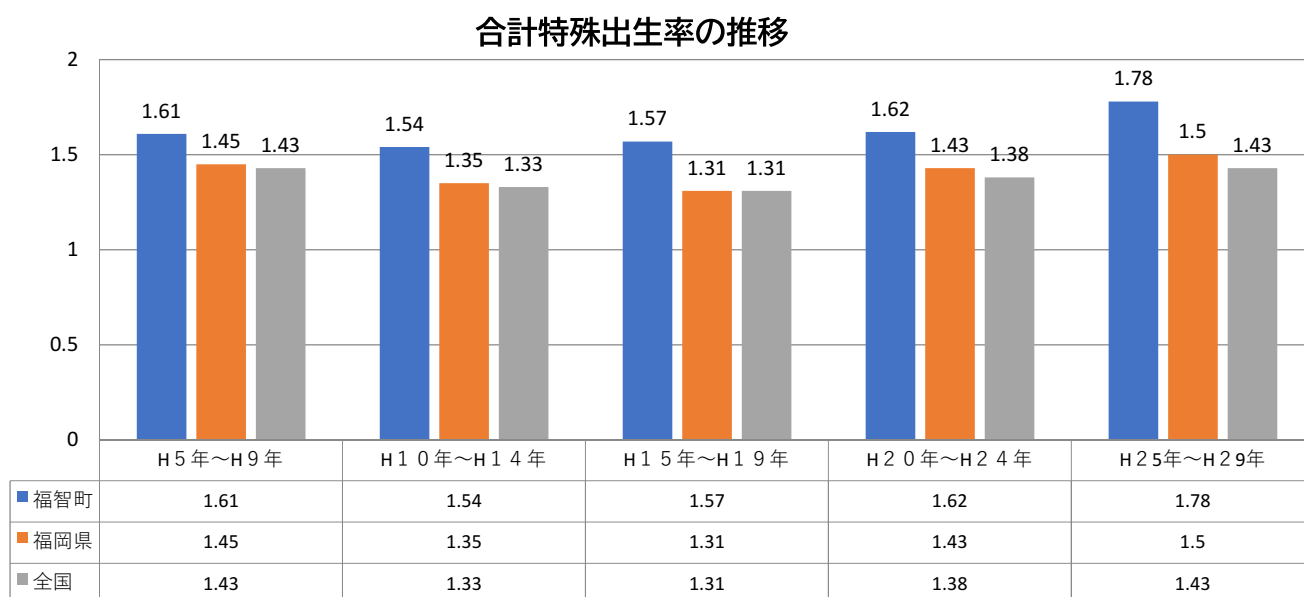
福智町の人口構成をみると平成22年度国勢調査では60～64歳が男女とも多く、次いで55～59歳でしたが、令和2年度は70～74歳が男女とも多く次いで65～69歳となっています。



(令和2年度国勢調査)

(3) 合計特殊出生率※

福智町の合計特殊出生率は、全国・福岡県と比較して高い状況です。また、平成10年以降は増加傾向が見られます。

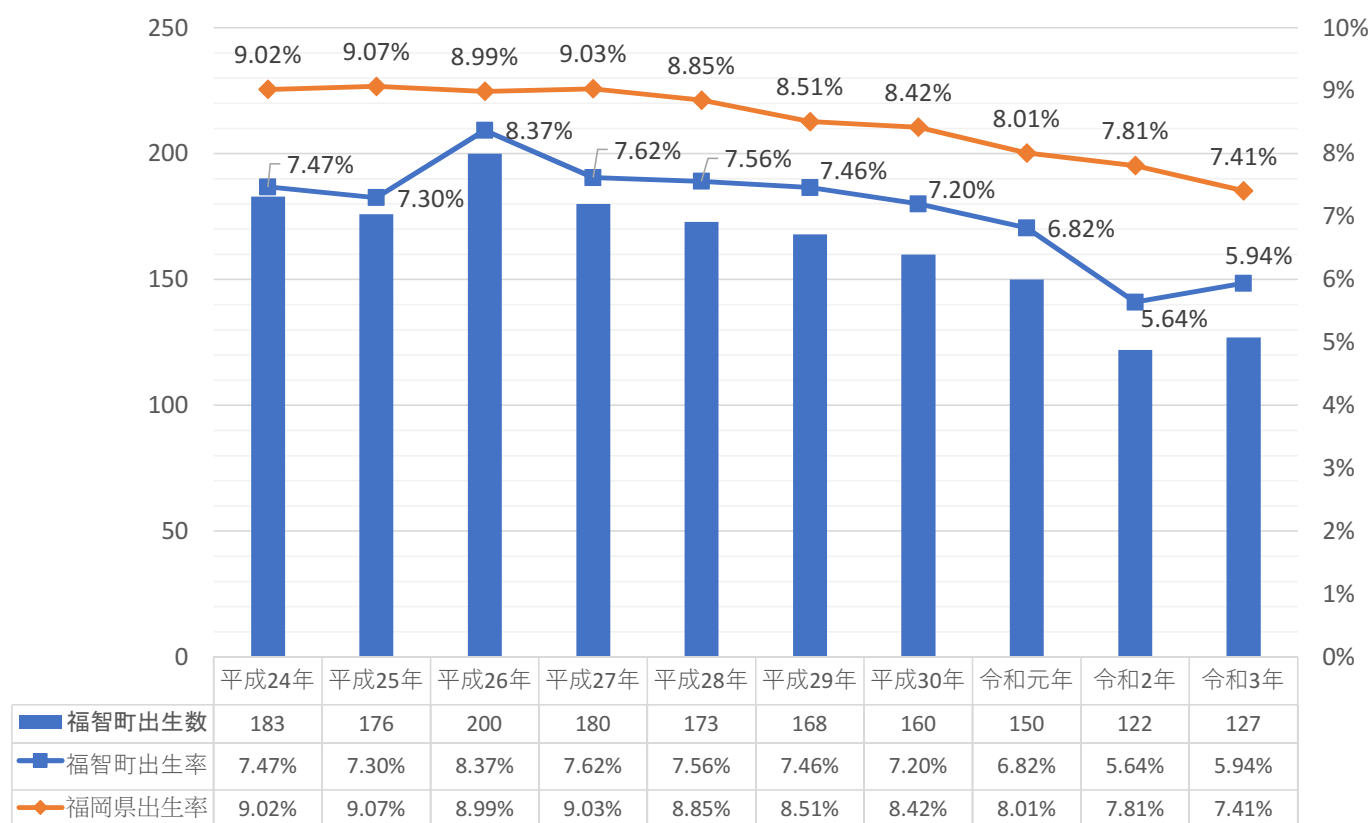


(人口動態統計 特殊報告)

※ 合計特殊出生率…一人の女性が一生のうちに産む子どもの数。15歳から49歳までの女性の出生率を合計したものです。

(4) 出生数及び出生率

福智町の出生数及び出生率は減少傾向で、県平均よりも下回っています。

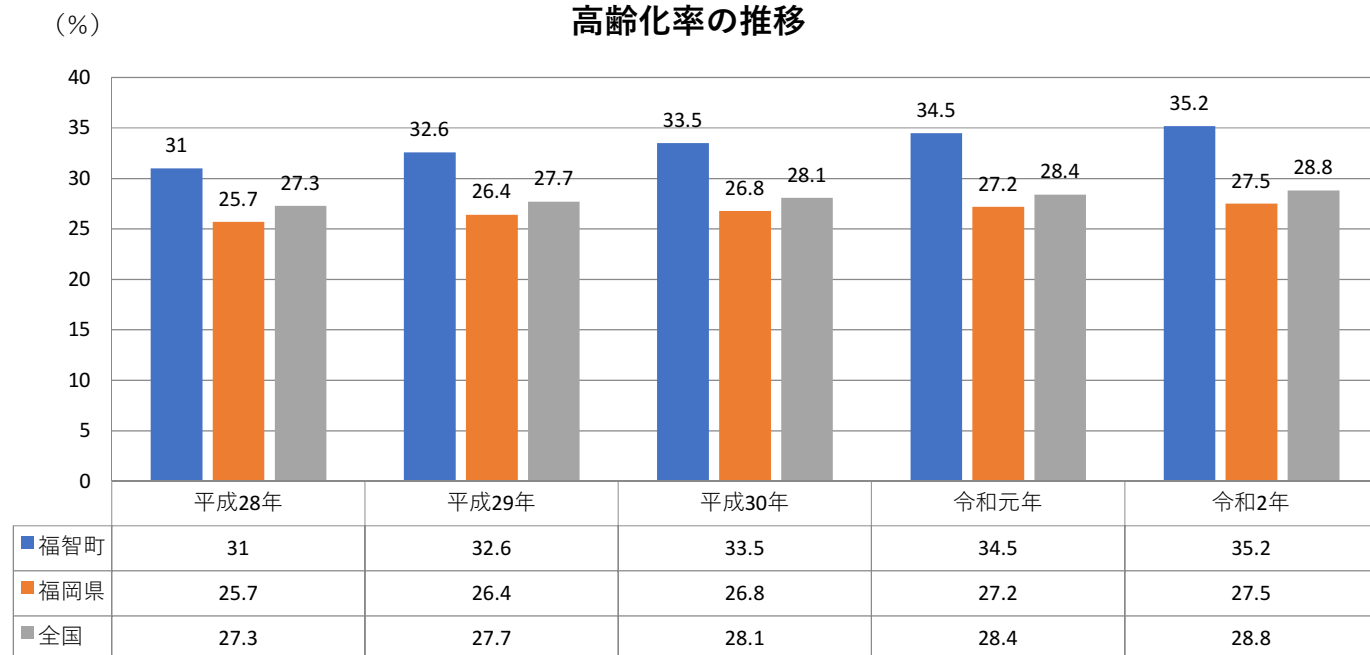


(人口動態統計)

(5) 高齢化率

福智町の高齢化率は、福岡県・全国と比較して高く、増加傾向です。

高齢化率の推移



(65歳以上人口一覧表(市町村別),高齢者白書)

3 疾病・医療費の動向

(1) 疾病の状況

福岡県、全国の死亡原因は、1位は悪性新生物（がん）、2位は心疾患、3位は老衰、4位は脳血管疾患、5位は肺炎ですが、福智町の1位は悪性新生物（がん）、2位は心疾患、3位は肺炎、4位は脳血管疾患、5位は腎不全となっています。

	1位	2位	3位	4位	5位
福智町	悪性新生物	心疾患	肺炎	脳血管疾患	腎不全
	28.7%	15.9%	10.5%	4.6%	3.0%
福岡県	悪性新生物	心疾患	老衰	脳血管疾患	肺炎
	29.4%	12.1%	6.8%	6.7%	6.2%
全国	悪性新生物	心疾患	老衰	脳血管疾患	肺炎
	27.6%	15.0%	9.6%	7.5%	5.7%

（令和2年度 福岡県保健統計年報）

(2) 生活習慣病の状況

福智町国民健康保険加入者の生活習慣病での医療機関受診件数を、令和3年5月のレセプト（診療報酬明細書）でみると、「高血圧症」が1位であり、続いて2位が「脂質異常症」、3位「糖尿病」、4位「虚血性心疾患」、5位「脳血管疾患」となっています。（重複有り）

	疾患名	件数	割合(%)
1位	高血圧症	1317	31.4
2位	脂質異常症	999	23.8
3位	糖尿病	739	17.6
4位	虚血性心疾患	257	6.1
5位	脳血管疾患	208	4.6

（令和3年5月 国保データベースシステム）

(3) 医療費の推移

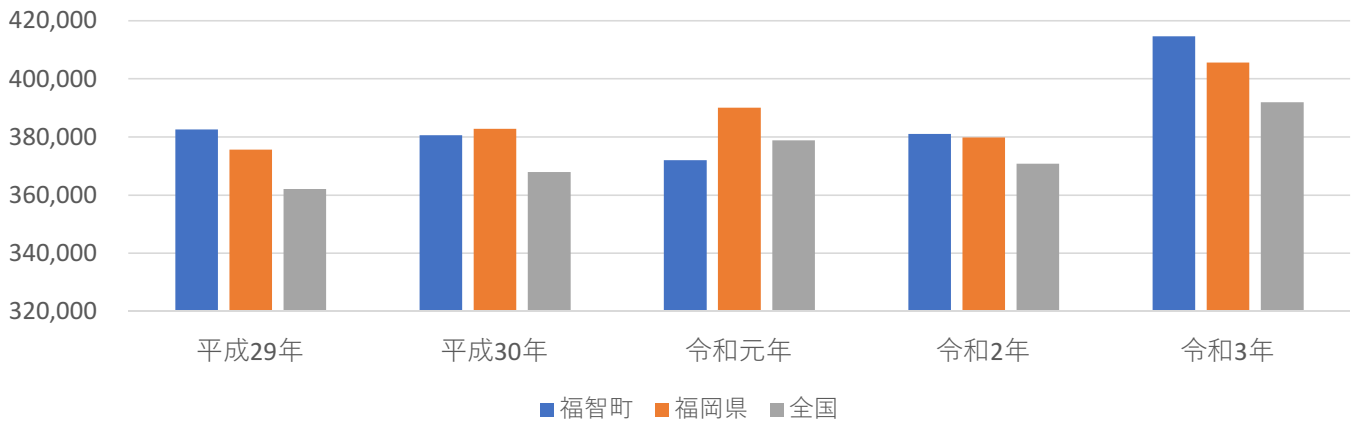
福智町の国民健康保険の1人あたりの年間医療費は、令和元年までは減少傾向にありましたが、令和2年から増加に転じ、令和3年は福智町、福岡県、全国ともに大幅に増加しています。

後期高齢者医療の1人あたりの年間医療費は、令和元年・令和2年と減少傾向にありましたが、令和3年は福智町、福岡県、全国ともに増加しています。

国民健康保険1人あたりの医療費

	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
福智町	382,617	380,646	372,034	381,075	414,622
福岡県	375,693	382,885	390,154	379,832	405,594
全国	362,159	367,989	378,939	370,881	392,044

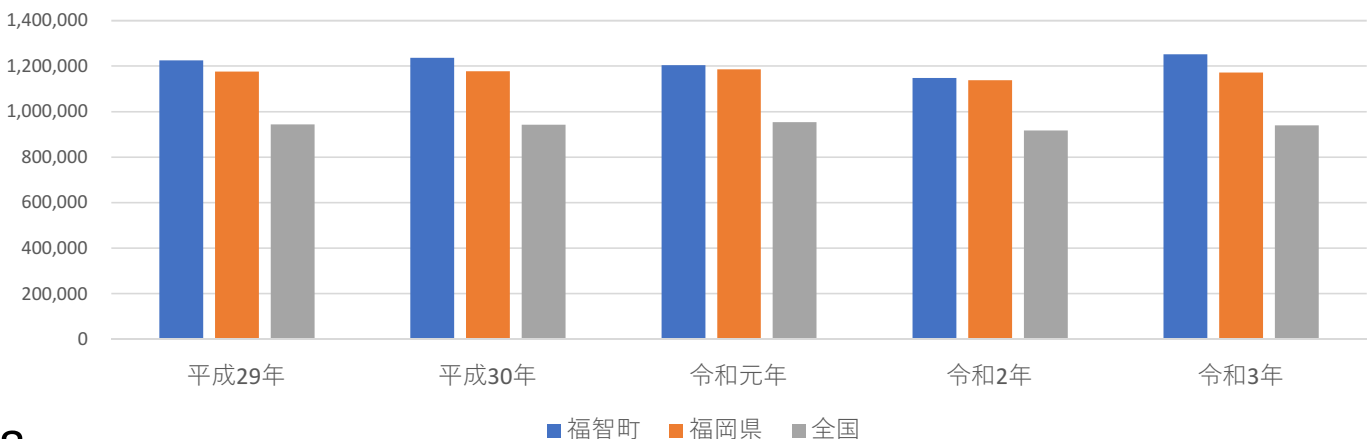
(福岡県国保医療費及び後期高齢者医療費の現状)



後期高齢者医療1人あたりの医療費

	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
福智町	1,225,523	1,237,601	1,204,109	1,149,093	1,252,033
福岡県	1,176,856	1,178,616	1,187,151	1,138,402	1,173,102
全国	944,561	943,082	954,369	917,124	940,512

(福岡県後期高齢者医療広域連合調「老人/後期高齢者医療市町村別1人あたり医療費の年次推移」)



第3章 計画の基本的考え方

1 計画の基本理念とめざす姿

計画の基本理念

安心して幸せに暮らせるまち ふくち

本計画は、乳幼児から高齢期まですべての町民が「安心して幸せに暮らせるまち」を基本理念としています。

安心して幸せに暮らせるためには、健康であることが大切です。健康づくりは一人ひとりの取り組みから始まりますが、核家族化の進行や価値観の多様化に加えて地域でのつながりが希薄化している中で、個人で健康づくりに取り組むことは難しい場合もあります。健康づくりを楽しみながら続けていくためには、お互いに良い刺激になり支え合える仲間は欠かせないものであり、町全体で仲間づくりを推進していくことが大切です。

この基本理念のもとに、行政だけでなく家庭・学校・地域・関係機関等と連携を図りながら、町民一人ひとりの生活スタイルに合った健康づくりを支援し、本計画を推進していきます。

2 ライフステージに応じた目標

健康づくりは生涯を通じて行うことが重要ですが、健康に関する課題は、ライフステージに応じて異なります。また、前のライフステージでの生活習慣や健康状態は次のライフステージに大きな影響を及ぼします。

本計画では、以下のとおり「妊娠期・乳幼児期」「児童・生徒期」「成人期」「高齢期」の4つに分類し、それぞれのライフステージにおける目標や健康づくりのための行動を示し、生涯を通じた健康づくりを推進していきます。

各ライフステージの目標

妊娠・幼児期

家庭・地域とつながり支えあいながら、子どもと共に育つ環境を整備します

児童・生徒期

家庭・地域・学校生活を通じて、望ましい生活習慣を身につけ健やかな心と体を育みます

成人期

健康への関心をもち、生活習慣を見直して活力ある毎日を過ごします

高齢期

健康寿命を延ばし、生きがいをもった暮らしを目指します



3 計画見直しにおける取組の評価

福智町健康増進計画では、【妊娠・乳幼児期】【児童・生徒期】【成人期】【高齢期】の4つのライフステージに応じた目標値を設定し、住民と関係機関・団体・行政がそれぞれ活動を通して、計画の推進に取り組んできました。

本計画の見直しにおける取組の評価の方法としては、各種統計データ等を基礎資料とし、各ライフステージにおける直近の実績値を把握することで比較分析を行い、取組目標における達成度をA～Dの4段階で評価しました。

各ライフステージの指標62項目のうち、「A 目標達成」は32.2%、「B 現状値より改善」の16.1%を合わせると、48.3%が改善傾向にあることがわかりました。

一方、「D 実績値が改善されていない」が40.3%と多くあり、より一層の取組が必要であることから、引き続き課題として上げていきます

評価基準

区 分	基 準	評価記号	項目数
目標達成	評価目標数値に達した場合	A	20
現状値より改善	評価目標値には達していないが、設定時の現状値(平成27年度)を上回り改善されている場合	B	10
現状値と同等	評価目標値に達せず、設定時の現状値(平成27年度)と同様または、10%内の範囲で低下・後退している場合	C	7
実績値が改善されていない	評価目標値に達せず、設定時の現状値(平成27年度)を10%以上低下・後退している場合	D	25

第4章 ライフステージ別の行動計画

1 妊娠・乳幼児期

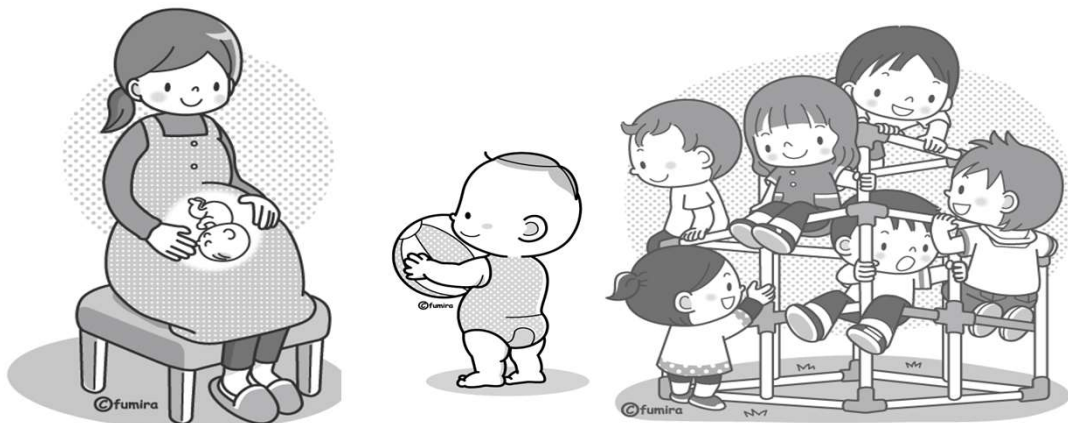
(1) 現状と課題

乳幼児期は、基本的な生活習慣を形成し、健康の基盤をつくる大切な時期です。また、親との愛着形成を基盤とし、精神的な信頼や自立の基礎をつくる時期でもあります。

福智町では、炭鉱最盛期であった昭和30年以降、人口減少と歩調を合わせるように出生数も減少しています。それに加え、核家族化の進行や価値観の多様化等も相まり、地域のつながりが希薄化し、コミュニティ崩壊の危機が指摘されているところです。

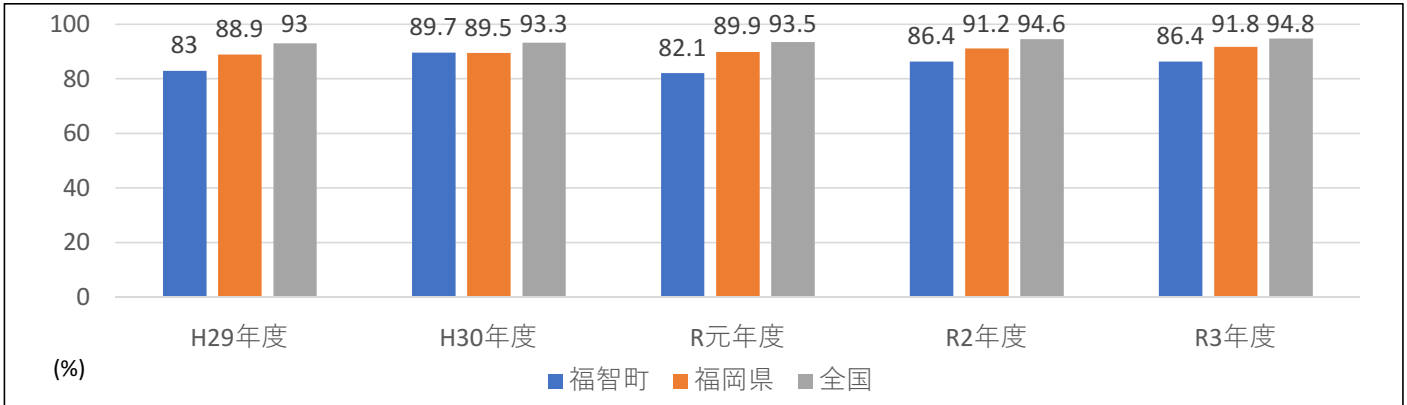
このような現状のもと、福智町では、低出生体重児の出生割合は低下しているものの、10代～20代前半の若年者の妊娠が多い傾向が続いています。このようなハイリスク妊娠のケースでは、食・運動・睡眠等、妊婦自身の基本的な生活習慣や健康行動が整っていない場合も少なくないため、妊婦はもとより、乳幼児期やその後の児童・生徒期においても基本的な生活習慣を形成し正しい健康行動への知識を獲得することは重要な課題であるといえます。また、望まない妊娠は虐待リスクを高めることがわかっており、このような意図しない妊娠を避けることができる知識と必要性を獲得できる機会も重要であると考えます。

また、望んで妊娠・出産をしたとしても、核家族化や共働き等、子育て世帯が安心して子育てができる社会情勢とは言い難いのが現状です。このような中で、妊娠・出産・子育て期にわたる切れ目ない支援体制が必要不可欠となってきます。そのためには、行政のサービスとして母子保健事業を充実させるだけでなく、地域で安心して子育てができることも重要な要素であり、地域・行政・学校等の関係機関が連携し、地域で子どもを育てるという共通認識を持つことが重要です。



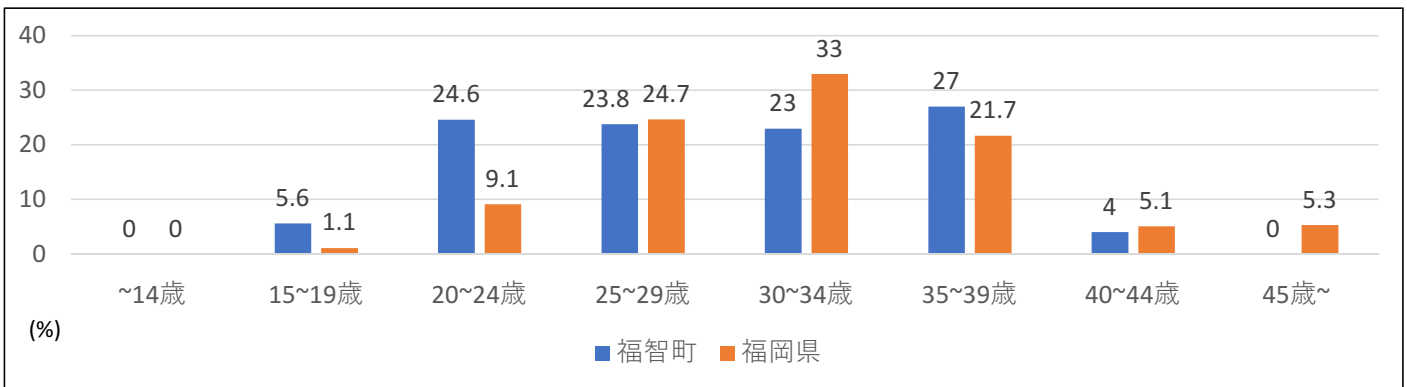
【関連データ】

図1 妊娠11週以内での妊娠届出の推移



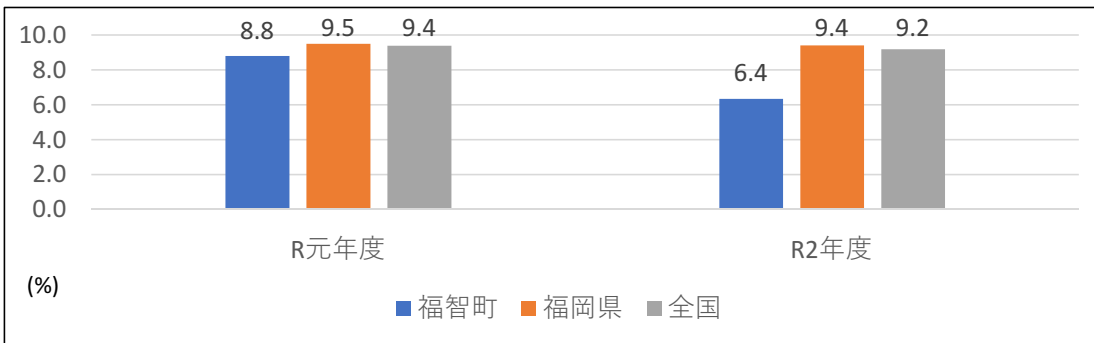
(地域保健・健康増進事業報告)

図2 出生時の母の年齢(R2年度)



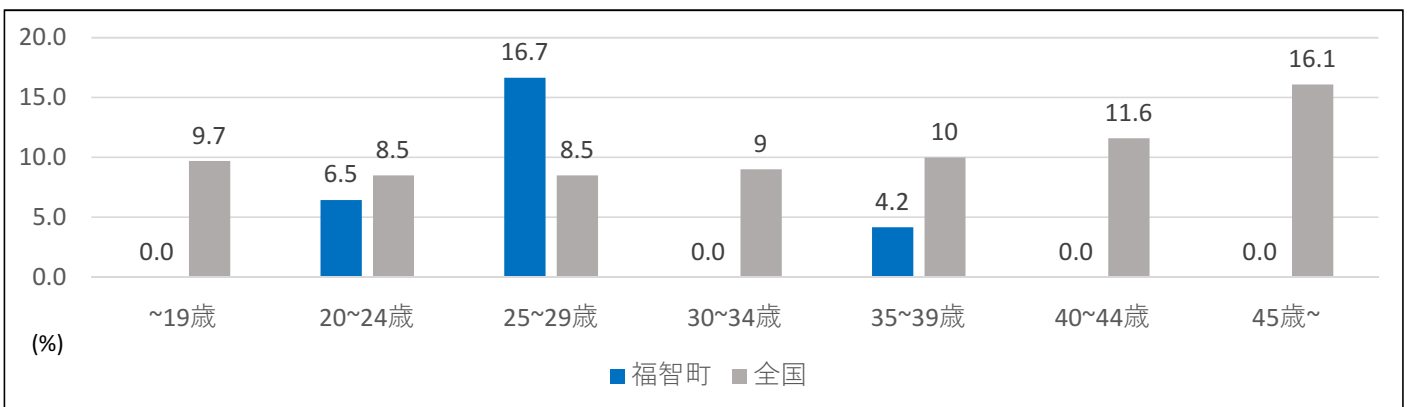
(地域保健・健康増進事業報告)

図3 2,500g未満の低出生体重児の割合



(福岡県保健統計年報)

図4 母の年齢階級別低出生体重児割合(R2年度)



(人口動態調査・福智町実績)

(2) ライフステージ別目標値

【 妊娠・乳幼児期 】

大目標	小目標	住民ができそうなこと	関係機関ができそうなこと	福智町ができること	指標		平成27年度 現状値	令和3年度 現状値	目標達成度 評価	福智町の 取り組み	令和8年度 目標値							
家庭・地域とつながり支えあいながら、子どもと共に育つ環境を整備します	妊娠・出産・子育てのサポートを充実します。	<セルフケア> ■妊婦健診や乳幼児健診を定期的に受診します。 ■予防接種を受け、病気の予防に努めます。 ■望んだ妊娠をし、親になる自覚を持ちます。 <お口の健康> ■食後の歯磨きの習慣をつけます。 <喫煙・飲酒・薬物> ■タバコの害から子どもを守ります。 <食事・栄養> ■栄養バランスの取れた食事をします。 ■朝ごはんを毎日食べる習慣をつけます。 <睡眠・休養> ■早寝早起きで子どもの生活リズムを整えます。	■正しい情報提供及び支援を行います【医師会・歯科医師会・医療機関】 ■健診や予防接種を受けるように呼びかけます【保育所】 ■食後の歯磨きの習慣をつけるよう呼びかけます【保育所】	◇母子保健事業のデジタル化の推進【総務課・健康子育て支援課】 ■乳幼児健診・相談で親子の支援を行い、早期治療や早期療育に繋がります【健康子育て支援課】 ■予防接種に関する情報提供を行い、接種を勧奨します【健康子育て支援課】 ■乳幼児健診において、歯科検診・歯科相談を行います【健康子育て支援課】	健診受診率	4ヶ月児健診	93.6%	89.1%	C	・乳幼児健診未受診者に対する再通知、電話、訪問等による受診勧奨 ・デジタル化の推進	96%							
						7ヶ月児健診	89.7%	91.6%	B		92%							
						1歳6ヶ月児健診	85.4%	79.2%	C		88%							
						3歳児健診	86.6%	85.8%	C		89%							
	体の健康を守ります。			■未熟児等ハイリスク児の出生の予防のための支援に努めます【保健福祉事務所】	■妊婦健診助成の充実を図ります【健康子育て支援課】 ■母子手帳交付・訪問・健診等で、妊娠期から子育ての心配事について相談を行います【健康子育て支援課】	予防接種	1歳6ヶ月までに四種混合の予防接種を終了している者の割合	98.3%	97.6%	C	・全戸訪問時、乳幼児健診での受診勧奨 ・接種時期での個別通知	99%						
							1歳6ヶ月までに麻疹・風疹の予防接種を終了している者の割合	87.9%	91.7%	A		93%						
							心の健康を守ります。			■子どもの生活習慣形成のための支援に努めます【保健福祉事務所】	■広報やホームページで健康に関する情報を提供します【健康子育て支援課・総務課・まちづくり総合政策課】 ■母子手帳交付時や訪問、健診で飲酒や喫煙の害について周知します【健康子育て支援課】		むし歯のない3歳児の割合	70.9%	82.3%	A	・健診での歯科検診・相談、保健指導	80%
													妊娠11週以下での妊娠届出率	87.6%	86.4%	C	・小中学校での性教育 ・母子手帳交付時の指導	91%
	妊娠中の妊婦の喫煙率	22.6%	10.3%	A	・母子手帳交付時や妊婦訪問時の保健指導	5%												
	妊娠中の妊婦の飲酒率	3.8%	0%	A		0%												
	安心して散歩や外遊びが出来る安心・安全な町を目指します。			■早寝・早起き・朝ごはんを呼びかけます【保育所】	■教室・相談等で乳幼児期の食事の大切さを啓発します【健康子育て支援課】 ■乳幼児健診・相談で栄養士による栄養相談を行います【健康子育て支援課】 ■子どもへの暴力防止プログラムを行います【健康子育て支援課】 ■親子で運動や遊びが出来る教室を行います【健康子育て支援課】 ■親子が一緒に公園で遊べるよう維持・管理します【健康子育て支援課・生涯学習課・建設課】 ■療育相談・教室等を行い、育児不安の軽減に繋がります【健康子育て支援課】		育児期間中の両親の喫煙率	64.6%	父 44.3% 母 19.3%	—	・乳幼児健診等での保健指導 ・ポスターの掲示等による周知	父 40% 母 17.5%						
							毎日朝食を食べる子どもの割合	*	93.6%	A	・食育の推進 ・乳幼児健診等での保健指導	95%						
21時までに寝る子どもの割合							36.0%	40.4%	B	・乳幼児健診等での保健指導	45%							
今後も福智町で子育てをしたいと思う親の割合							91.7%	93.1%	A	・子育て支援センターや療育相談・教室の充実 ・保健師、管理栄養士による相談対応 ・デジタル化の推進 ・経済的支援（初回産科費用助成、産後ケア利用料減免）	95%							

2 児童・生徒期

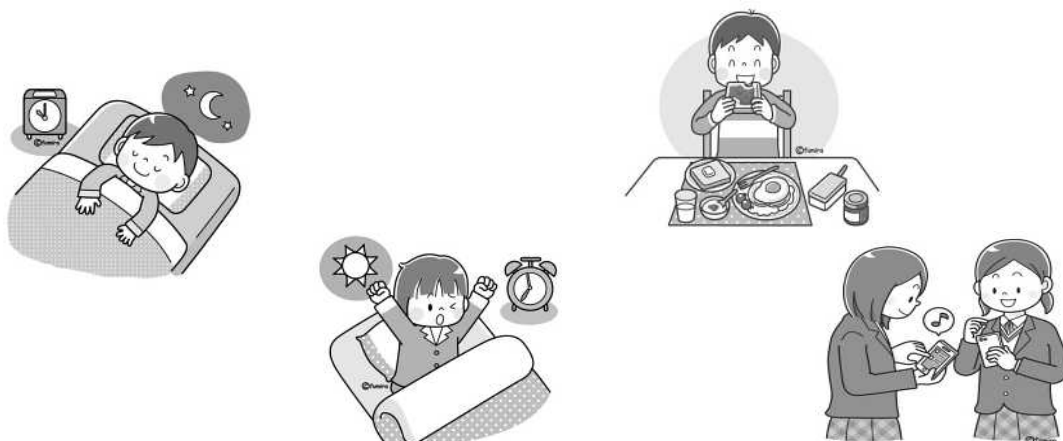
(1) 現状と課題

児童・生徒期は、家庭・地域・学校生活を通じて、食生活・運動・睡眠などの望ましい生活習慣を獲得するとともに、自分の役割や連帯感などの社会性を身につけ、心と体の基礎を作る重要な時期です。基礎体力が付き心の発達も見られますが成長過程において環境や身体的にも変化が大きく、精神的に不安定になりやすい時期でもあります。

国は、「早寝早起き朝ごはん運動」を推進していますが、福智町では「朝食を毎日食べている」児童・生徒の割合が福岡県、全国よりも依然として低く、「携帯電話・スマートフォンの使用時間が長い」児童・生徒の割合が、全国・福岡県よりも多く、増加しています。これらの基本的生活習慣は、学力にも大きく影響を及ぼします。新型コロナウイルス感染症の影響下で、1人1台端末の利活用の促進、ICT機器学習の取組みは期待されています。児童・生徒の心理面にも様々な変化がみられ、こころのケアや豊かな心をはぐくむ取組みも重要と考えます。

また、福智町の小学生・中学生の肥満傾向児の出現率は全国・福岡県よりも高いことがわかりました。国民健康保険特定健診受診者の健診結果でも、40～74歳の肥満の人の割合が福岡県よりも高いことから、子どもの生活習慣は家庭から受ける影響が大きく、親や祖父母などの家族も子どもと同様の生活習慣であることが予測されます。そのため家族が生活習慣について考え、正しい健康行動に向けての知識を獲得することは重要な課題です。同時に、子どもが自ら考え健康的な行動を選択できるための健康学習の機会も重要と考えます。

また、様々な人間関係の中で社会に出ていく準備をする時期でもあります。核家族化が進み地域での交流が少なくなっている中で、学校や家族以外の人とふれあう機会は得られにくい現状であり、家庭・学校・行政・地域が連携し子どもたちの成長を見守り支援できる体制を構築することも課題と考えます。



【関連データ】

図1 朝食を毎日食べている児童生徒の割合

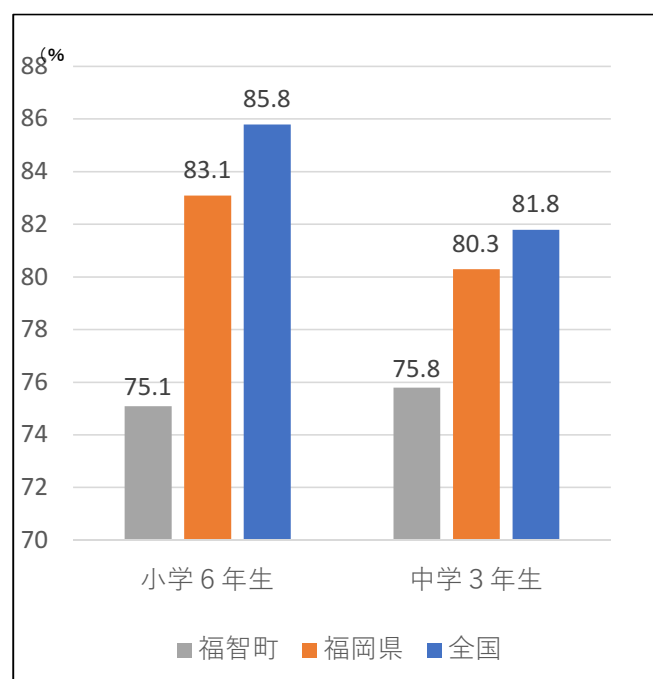


図2 肥満傾向児(肥満度20%以上)の出現率

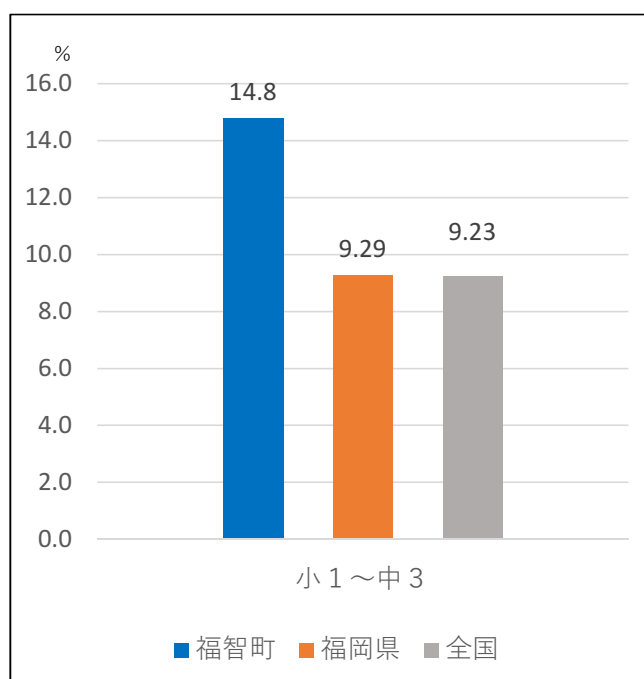
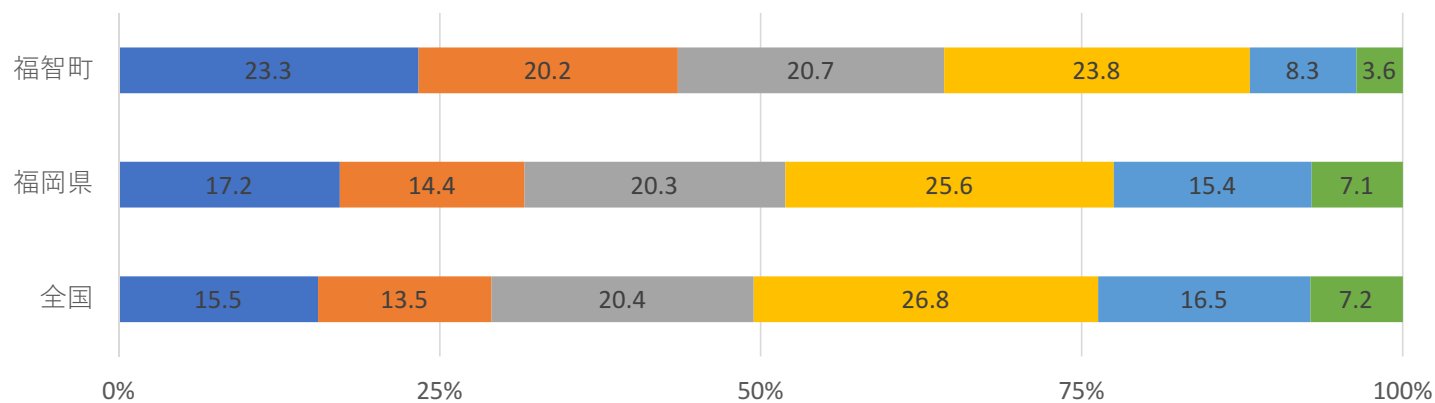


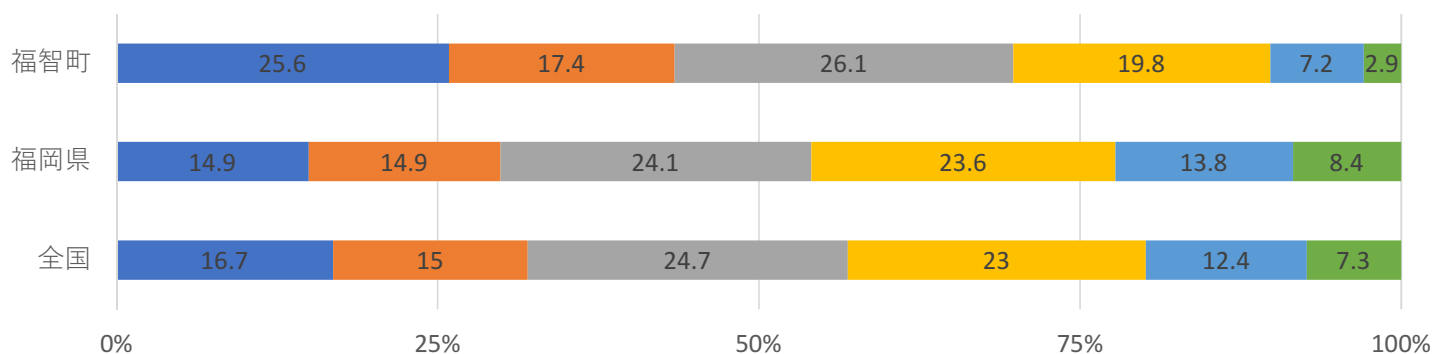
図3 テレビ、携帯、スマートフォンの視聴時間

【小学生】

■ 4時間以上 ■ 3時間以上 ■ 2時間以上 ■ 1時間以上 ■ 1時間未満 ■ 全くしない



【中学生】



(2) ライフステージ別目標値

【 児童・生徒期 】

大目標	小目標	住民ができそうなこと	関係機関ができそうなこと	福智町ができること	指標	平成27年度 現状値	令和3度 現状値	目標達成度 評価	福智町の 取り組み	令和8年度 目標値
家庭・地域・学校生活を通じて、 望ましい生活習慣を身につけ 健やかな心と体を育みます	子どもの早寝・早起き・朝ごはんを推進します 子どもの心と体の健康づくりを推進します	<食事・栄養> ■バランスの良い食事の作り方を学びます ■栄養バランスのとれた食事をします ■朝ごはんを毎日食べます <睡眠・休養> ■睡眠や生活リズムの大切さを知り、早寝早起きを心がけ、自分で起きます <運動・身体活動> ■楽しく体を動かし、運動する習慣を身につけます ■歩いて学校に行きます ■普段から公園などで遊びます <お口の健康> ■歯や口の健康について学び、正しい方法で歯を磨きます <喫煙・飲酒・薬物> ■薬物と未成年のタバコ・アルコールの害を知り、使用しません <セルフケア> ■予防接種を受け、病気の予防に努めます ■命の大切さや妊娠・出産・子育てについて学びます ■相談場所について知り、困ったときは相談します ■スマホやゲームの影響について知り、使用時間を守ります	■早寝早起きの大切さを周知します 【保育所・学校】 ■朝食やバランスの良い食生活について周知します 【保育所・学校】 ■家庭科の授業を通して食生活の大切さや料理方法について学ぶ機会を設けます 【学校】 ■給食を通して食育について学ぶ機会を設けます 【保育所・学校】 ■子どもの生活習慣形成のための支援に努めます。 【保健福祉事務所】 ■体を動かすことの大切さを周知します 【保育所・学校】 ■スマホやゲームの影響や使用時間について周知します 【保育所・学校】 ■歯科健診を実施します 【保育所・学校】 ■歯や歯磨きの大切さについて周知します 【保育所・学校】 ■タバコ・薬物・アルコールが健康に及ぼす害について周知します 【学校】 ■未成年の喫煙を防止するための取り組みに努めます。 【保健福祉事務所】 ■命の大切さや妊娠・出産・子育てに関する正しい知識を周知します 【学校】 ■子どもや保護者が相談できる機会を設けます （スクールカウンセラー・巡回相談） 【学校】	◇母子保健事業のデジタル化の推進【総務課・健康子育て支援課】 ■乳幼児健診や広報で早寝早起き朝ごはんについて周知します 【健康子育て支援課】 ■学校や食生活改善推進会と連携し、健康教育や子どもを対象とした料理教室を行い食育を推進します 【健康子育て支援課・学校教育課・農政課】 ■運動について情報提供します 【健康子育て支援課】 ■運動しやすい環境を整備するとともにスポーツの普及に努めます 【生涯学習課】 ■体力測定等を行います 【学校教育課】 ■スマホやゲームの影響や使用時間について周知します 【健康子育て支援課・学校教育課】 ■歯や歯磨きの大切さについて周知し歯科健診や健康診断を行います 【学校教育課】 ■乳幼児健診や広報で歯や歯磨きの大切さについて周知します 【健康子育て支援課】 ■予防接種について情報提供し接種を勧めます 【健康子育て支援課】 ■タバコ・薬物・アルコールが健康に及ぼす害について周知します 【健康子育て支援課・学校教育課】 ■命の大切さや妊娠・出産・子育てに関する正しい知識を周知します 【健康子育て支援課・学校教育課】 ■子どもや保護者が相談できる機会を設け、相談先について周知します （スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー・巡回相談・療育相談） 【学校教育課・健康子育て支援課】 ■子どもへの暴力防止プログラムやデートDV防止プログラムを行います 【学校教育課・健康子育て支援課・人権推進課】 ■民生委員児童委員協議会の活動を支援します 【健康子育て支援課・高齢障がい福祉課】 ■地域で見守れる体制を整備します 【総務課・学校教育課・生涯学習課】 ■安心して遊べる公園や施設を維持・管理します 【健康子育て支援課・建設課・生涯学習課】 ■地域で交流できるよう公民館活動を充実します 【生涯学習課】 ■広報やホームページで健康に関する情報を提供します 【健康子育て支援課・総務課・まちづくり総合政策課】	毎日同じくらいの時刻に寝ている子どもの割合（福智町）	小6 39.7% 中3 31.3%	小6 34.7% 中3 25.1%	小6 D 中3 D	・乳幼児期からの生活習慣定着のため、乳幼児健診や広報による周知、学校での講話 ・食育の推進 ・デジタル化の推進	小6 40.0% 中3 31.4%
					毎日同じくらいの時刻に起きている子どもの割合（福智町）	小6 60.7% 中3 62.1%	小6 51.8% 中3 56.5%	小6 D 中3 D		小6 61.0% 中3 62.5%
					朝食を毎日食べる子どもの割合（福智町）	小6 83.8% 中3 75.8%	小6 75.1% 中3 75.8%	小6 D 中3 C		小6 84.4% 中3 81.7%
					携帯電話・スマートフォンの視聴時間が4時間以上の割合（福智町）	小6 11.8% 中3 18.7%	小6 23.3% 中3 25.6%	小6 D 中3 D		小6 11.8% 中3 18.7%
					12歳児の1人平均むし歯本数（福智町）	12歳 2.1本	12歳 1.2本	B		12歳 1.0本
					肥満傾向児の出現率（福智町）	小1～中3 11.0%	小1～中3 14.8%	D		小1～中3 11.0%
					体力合計点 平均値（福智町）	小5男子 53.88 小5女子 53.07 中2男子 39.59 中2女子 40.31	小5男子 47.80 小5女子 55.80 中2男子 43.57 中2女子 44.60	小5男子 D 小5女子 A 中2男子 A 中2女子 B		小5男子 54.05 小5女子 54.76 中2男子 41.56 中2女子 48.16
					予防接種（二種混合）の接種率（福智町）	64.3%	69.8%	A	・接種勧奨通知	69.8%
					親子料理教室	1回／年	中止	-	・図書館、公民館等での共同開催拡大	1回／年以上
					子ども対象の料理教室	未実施	未実施	-		1回／年以上
	安心して散歩や外遊びが出来る安心・安全な町を目指します	<地域づくり> ■家族、友達、地域の人と公民館活動などで交流します ■地域の人子どもに声をかけ、見守ります	■民生委員児童委員協議会の活動を行います ■働く親に対して配慮・理解します 【職場】 ■ファミリーサポート事業を行います 【社会福祉協議会】	■民生委員児童委員協議会の活動を支援します 【健康子育て支援課・高齢障がい福祉課】 ■地域で見守れる体制を整備します 【総務課・学校教育課・生涯学習課】 ■安心して遊べる公園や施設を維持・管理します 【健康子育て支援課・建設課・生涯学習課】 ■地域で交流できるよう公民館活動を充実します 【生涯学習課】 ■広報やホームページで健康に関する情報を提供します 【健康子育て支援課・総務課・まちづくり総合政策課】	思春期健康教育	全小中学校で実施	全小中学校で実施	A	・保健師や助産師等の外部講師による授業	全小中学校で実施
					未成年のタバコ・薬物防止教育	全小中学校で実施	全小中学校で実施	A	・妊娠期から家庭での禁煙指導・学校便りでの周知	全小中学校で実施
					CAP（子どもへの暴力防止プログラム）	保育所12園 小学校 4校	保育所2園 小学校 2校	D	・学校教育課主体にて同様のプログラムへ変更実施か検討	全園・全校で実施
					デートDV防止プログラム	未実施	全中学校で実施	B		全校で実施
					広報による周知	4回／年	4回／年	A	・健康関連の記事掲載	4回／年

3 成人期

(1) 現状と課題

成人期は、社会人となり、結婚・出産・育児等多くの方が人生の転機を迎え、仕事に子育てに活発に関わり人間関係も生活状況も大きく変わります。自分自身の事だけでなく家庭の生活についても考える必要があり、すべてのライフステージに関わる重要な担い手でもあります。また、社会的な役割や責任が大きくなり、ストレスもかかり心身ともに負担が大きくなる年代です。

生活習慣病は、自覚症状を伴わないため、自ら気付くことが難しく、健診等を受けないとその発症や進行には気付きにくいのが特徴であるとともに、生活習慣の乱れがその後の健康状態に及ぼす影響は少なくありません。

福智町の国民健康保険の特定健診受診率は男性が女性に比べて低く、若い世代では男女とも低いことが分かりました。令和2年度までは3年連続県内受診率最下位に位置していましたが、令和3年度は未受診者対策を強化し、受診率アップに繋がりました。しかし、全国的にみると受診率は低い（県内56位/60）状況で、健診を受けていない方については健康問題が後回しになることが伺えます。

また、特定健診の問診から全国、福岡県と比較すると男女ともに「1回30分以上の運動を週2回以上しない」、「喫煙」、「睡眠不足」、「週3回以上の朝食欠食」の割合が多く、女性は「1日2合以上の飲酒」が多いことが分かりました。また、「毎日飲酒している」割合と「喫煙」は女性より男性で高い傾向にありました。

その生活習慣との関連を示す健診結果について、全国、福岡県と比較すると男女ともに動脈硬化を進める因子である「空腹時血糖」「収縮期血圧」「拡張期血圧」の有所見者割合が高く、発症予防と重症化予防対策が重要だと考えます。おとなの生活習慣が、子どもへ影響を及ぼすため、乳幼児期からの食、運動、睡眠などの習慣を家庭でしっかりと身につけておく必要があります。親の世代でもある成人期は生活習慣を見直す機会にもなります。一人ひとりが健康への関心を高めて、年に1回は健診を受け、食生活、運動、睡眠など生活習慣を見直し、家庭、職場、学校、地域、行政が連携して、個人または家族全体の健康づくりを支えるための環境づくりが課題と考えます。



【関連データ】

図1 国民健康保険特定健診受診率の推移

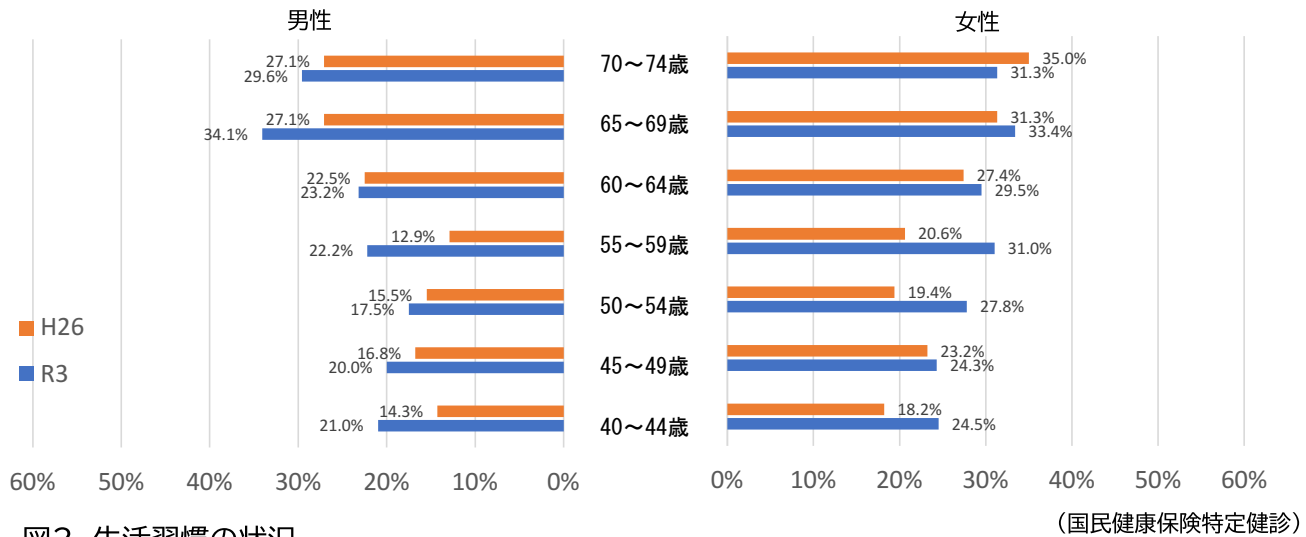


図2 生活習慣の状況

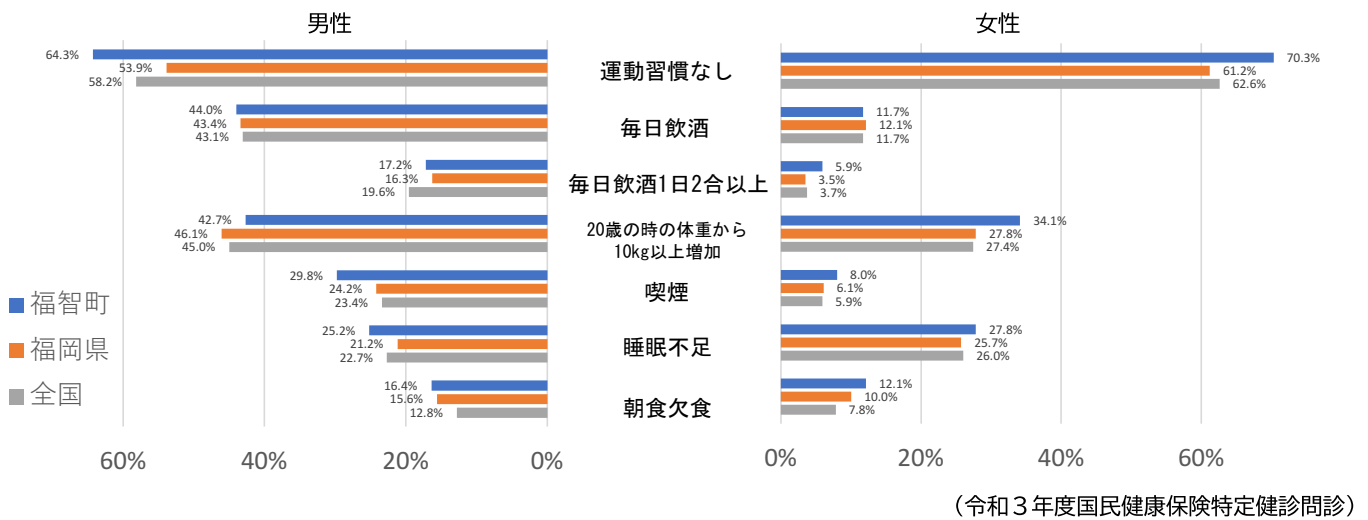
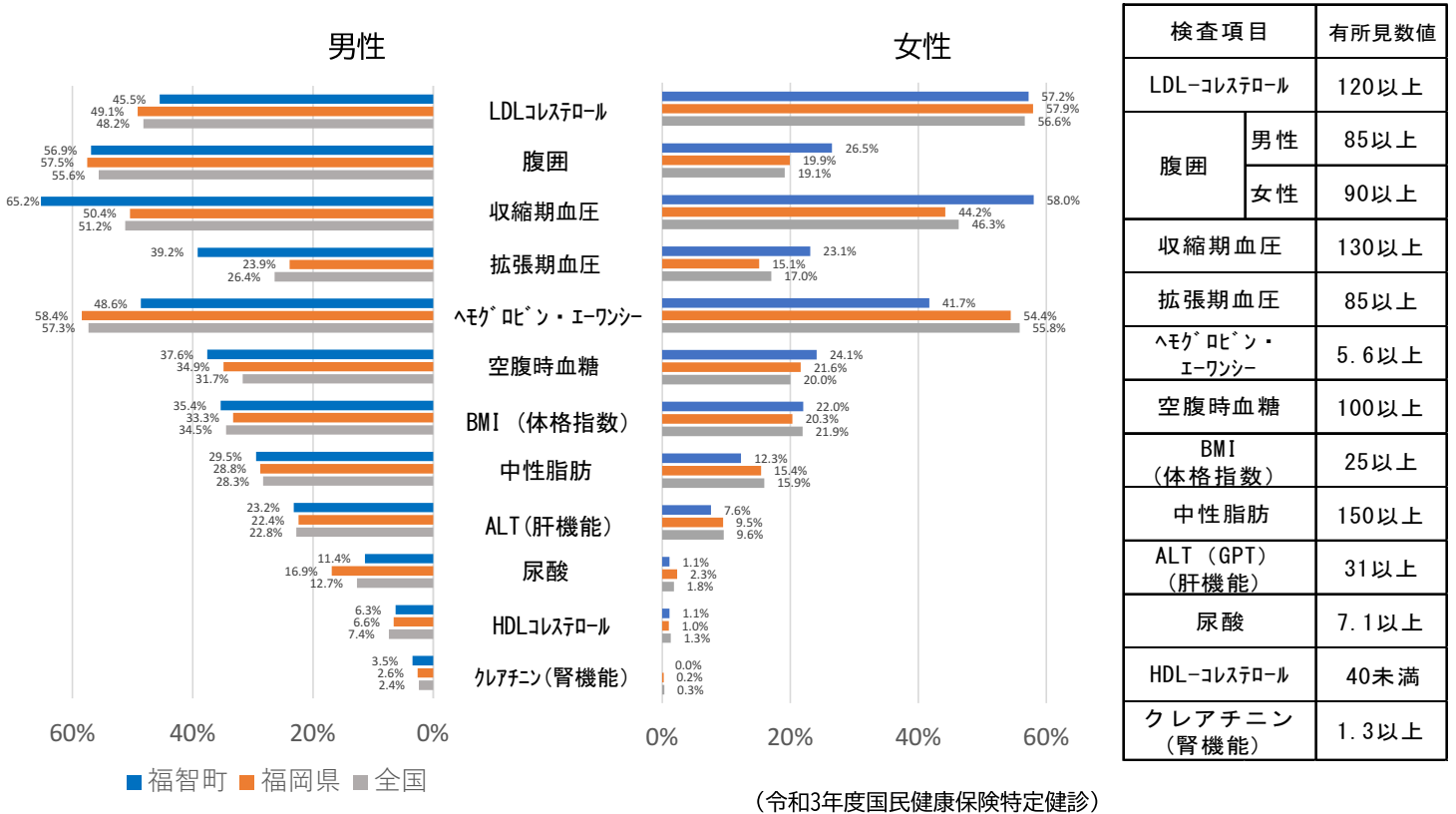


図3 健診結果データの有所見者割合



検査項目		有所見数値
LDLコレステロール		120以上
腹囲	男性	85以上
	女性	90以上
収縮期血圧		130以上
拡張期血圧		85以上
ヘモグロビン・エーワンシー		5.6以上
空腹時血糖		100以上
BMI (体格指数)		25以上
中性脂肪		150以上
ALT (GPT) (肝機能)		31以上
尿酸		7.1以上
HDLコレステロール		40未満
クレアチニン (腎機能)		1.3以上

(2) ライフステージ別目標値

【 成人期 】

大目標	小目標	住民ができそうなこと	関係機関ができそうなこと	福智町ができること	指標	平成27年度 現状値	令和3年度 現状値	目標達成度 評価	福智町の 取り組み	令和8年度 目標値
健康への関心をもち、生活習慣を見直して活力ある毎日を過ごします	生活習慣を見直して健康づくりを推進します	＜セルフケア＞ ■健康な時から定期的に特定健診・がん検診を受けます ■適正体重を維持します ■定期的に血圧を測ります ■必要に応じて早期に受診し、治療を継続します ＜地域づくり＞ ■地域の活動に参加できるよう努めます ＜お口の健康＞ ■口腔ケアに努め、むし歯や歯周病を予防します ■定期的に歯科検診を受けます	■特定健診、がん検診の啓発に努めます【保健福祉事務所】 ■特定健診・特定保健指導に協力します【医師会・医療機関】 ■生活習慣病に関する正しい知識を普及します【医師会・歯科医師会・医療機関】 ■福岡健康づくり県民運動情報サイトを活用した生活習慣改善のためのインターネットでの情報提供を行います【保健福祉事務所】 ■民生委員児童委員協議会の活動を行います ■地域の世代交流を活性化します【社会福祉協議会】 ■地域保健と職域保健との連携を推進します【保健福祉事務所】	◇健康増進事業のデジタル化を推進します【総務課・健康子育て支援課】 ■特定健診や保健指導、がん検診を実施します【健康子育て支援課・税務住民課】 ■広報、ホームページなどで生活習慣病予防に関する情報を提供し、相談を行います【健康子育て支援課・まちづくり総合政策課・総務課】 ■健診の機会を利用して生活習慣病予防のための食事、運動、飲酒、喫煙等に関する情報提供に努めます【健康子育て支援課】 ■民生委員児童委員協議会の活動を支援します【高齢障がい福祉課】	特定健診受診率の向上	20.50%	24.10%	B	・受診しやすい環境づくり（デジタル化等） ・広報やポスター、防災無線、個別通知による健診の必要性の啓発 ・通知や電話による再勧奨 ・特定健診への意識づけの強化 ・健診費用全額補助	50%
	こころの健康づくりを推進します	＜食事・栄養＞ ■適切な栄養について正しい知識を持ちます ■うす味でバランスのよい食生活を心がけます ■野菜を毎日食べます ■朝ごはんを毎日食べます ■よくかんで食べます	■がん対策・循環器疾患対策、糖尿病対策の推進に努めます【保健福祉事務所】		特定保健指導実施率の向上	53.10%	30.20%	D	・保健指導を受けやすい環境づくり（デジタル化等） ・集団健診当日に保健指導を実施 ・特定保健指導への意識づけの強化 ・指導者の資質の向上	60%
					肺がん検診受診率の向上	7.80%	5.80%	D	・ 広報やポスター、防災無線、個別通知による検診の周知 ・ 受診しやすいよう休日も検診を実施 ・ 検診費用の補助 ・ 子宮、乳がんについては対象年齢にクーポン券を発行し受診を促す	8.1%
					胃がん検診受診率の向上	6.2%	5.7%	C		7.1%
					大腸がん検診受診率の向上	8.9%	6.0%	D		8.1%
					乳がん検診受診率の向上	16.6%	10.4%	D		17.2%
					子宮がん検診受診率の向上	11.10%	5.90%	D		16.0%
	安心して散歩ができる安全な町をめざします	＜睡眠・休養＞ ■充実したゆとりの時間や睡眠をとります ■生活リズムを整えます	■ヘルシーメニューの提供等に取り組む飲食店の増加に努めます【保健福祉事務所】 ■健康づくりに取り組む企業等への支援に努めます【保健福祉事務所】 ■食生活改善推進会や運動普及推進連絡協議会の活動を推進します	■地区活動の場で生活習慣病予防に関する講話を行います【健康子育て支援課】 ■地区公民館の活動の充実を図ります【生涯学習課】 ■食生活改善推進会や運動普及推進連絡協議会の活動を支援します【健康子育て支援課】 ■各種運動教室を行います【健康子育て支援課】 ■気軽に運動できるよう環境整備に努めます【健康子育て支援課・まちづくり総合政策課・学校教育課・生涯学習課・建設課】 ■公共施設の全面禁煙をめざします【総務課・防災管理・管財課】	肥満(*BMI25以上)の人の割合の減少	男性 30.5% 女性 25.4%	男性 40.8% 女性 25.0%	男性 D 女性 B	・ 結果説明会や後日面談、電話での健診結果の説明 ・ 健康相談の実施 ・ 禁煙、節酒に関するポスターの掲示 ・ 健康ポイント等の導入	男性 28.0% 女性 23.0%
					週3回以上朝食を抜く人の割合の減少	18.2%	14.1%	A		15.0%
					1回30分以上の運動を週2回以上、1年以上実施している人の割合の増加	男性 31.7% 女性 18.6%	男性 35.7% 女性 29.7%	男性 B 女性 A		男性 36.0% 女性 33.0%
					喫煙している人の割合の減少 (喫煙をやめたい者がやめる)	男性 35.8% 女性 13.4%	男性 29.8% 女性 8.0%	男性 A 女性 B		男性 30.1% 女性 7.9%
		＜運動・身体活動＞ ■日常生活の中で出来るだけ体を動かします ■運動習慣を身につけ、定期的に運動をします								

(2) ライフステージ別目標値

【 成人期 】

大目標	小目標	住民ができそうなこと	関係機関ができそうなこと	福智町ができること	指標	平成27年度 現状値	令和3年度 現状値	目標達成度 評価	福智町の 取り組み	令和8年度 目標値
		＜喫煙・飲酒・薬物＞ ■アルコールと上手につきあいます ■1日の適切なアルコール量を知り、守ります ■アルコールでストレスを発散したり、睡眠のために飲酒することを控えます ■タバコの害を知り、禁煙に努めます	■アルコール関連問題に関する啓発に努めます 【保健福祉事務所】	■受動喫煙、アルコールの害について啓発します 【健康子育て支援課】	毎日2合以上飲酒している人の割合の減少	男性 19.4% 女性 5.1%	男性 17.2% 女性 5.9%	男性 B 女性 D		男性 15.2% 女性 5.1%
				■歯の健康に関する情報提供を行います 【健康子育て支援課】	十分な睡眠をとれていない人の割合の減少	37.0%	26.6%	A		22.4%
					なんでもかんで食べることができる人の割合の増加	(* 1)	79.8%	A		80.0%
					メタボリックシンドロームの該当者の割合の減少	11.5%	18.1%	D		H27年度と比べて減少
					メタボリックシンドロームの予備群の割合の減少	14.8%	13.1%	A		H27年度と比べて減少
		＜メンタルヘルス＞ ■ストレスとうまくつきあいます ■身近に相談できる人をつくります ■家族や友人との会話や趣味を楽しみます ■生きる糧、はりあいをもちます	■こころの健康に関する相談体制を充実します 【保健福祉事務所】 ■こころとからだの健康づくりを推進し、ライフワークバランスの普及啓発に努めます 【職場】	■こころの健康づくりについて啓発に努めます 【健康子育て支援課】	血圧値160/100mmHg以上の人の割合の減少	(H26) 5.3% (* 2)	13.4%	D	・健診当日に保健指導を実施（血圧についてお話） ・結果説明会当日に減塩料理の試食会を実施 ・減塩料理教室実施予定	H26年度と比べて減少
					自殺率の減少	年齢調整死亡率 (人口10万対) 男性 44.2 女性 15.9	男性 18.3 女性 8.3	A	・町民、町職員向けに研修を実施	男性 24.4 女性 10.0

(*) BMI (Body Mass Index) : 身長と体重から計算される体格指数 (体重 (kg) ÷ 身長 (m) の2乗)

(* 1) 令和3年度の評価までには現状を把握するよう努めます

(* 2) H26が最新データのため

4 高齢期

(1) 現状と課題

高齢期は、豊かな人生経験と知識等を地域社会で活かし、生きがいを持って余生を楽しむ時期です。また、身体的・精神的老化により、健康問題が大きくなり、介護が必要となる人が増加する時期でもあります。

福智町では、65歳以上の介護保険の認定率が高く、一人当たりの給付費も高い状況です。今後も、高齢化に伴い介護を必要とする人の増加が見込まれます。また、高齢者の低栄養は、健康や介護状態に対する影響が大きいため、予防が重要です。

介護が必要となった主な原因として、骨・関節疾患があり、その対策として、ロコモティブシンドローム（運動器症候群）の予防が非常に重要であると考えます。

また、福岡県は全国の中でも、「健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間」である健康寿命が短いため、この延伸が課題となっています。健康寿命の延伸のためには、生活習慣病の発症予防や悪化の予防、高齢化に伴う機能低下を遅らせるなど、社会生活を営むための機能を可能な限り維持することが重要です。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症拡大で、生活様式の変化や集う場の喪失などが、高齢者に与えた影響は計り知れないものがあります。

今後は、感染予防対策を行いながら、介護予防の推進や、高齢者が生きがいを持てるよう、地域活動などの社会参加の促進対策に加え、ボランティア活動等を通じて、社会で活躍し続けることができる体制づくりが必要です。



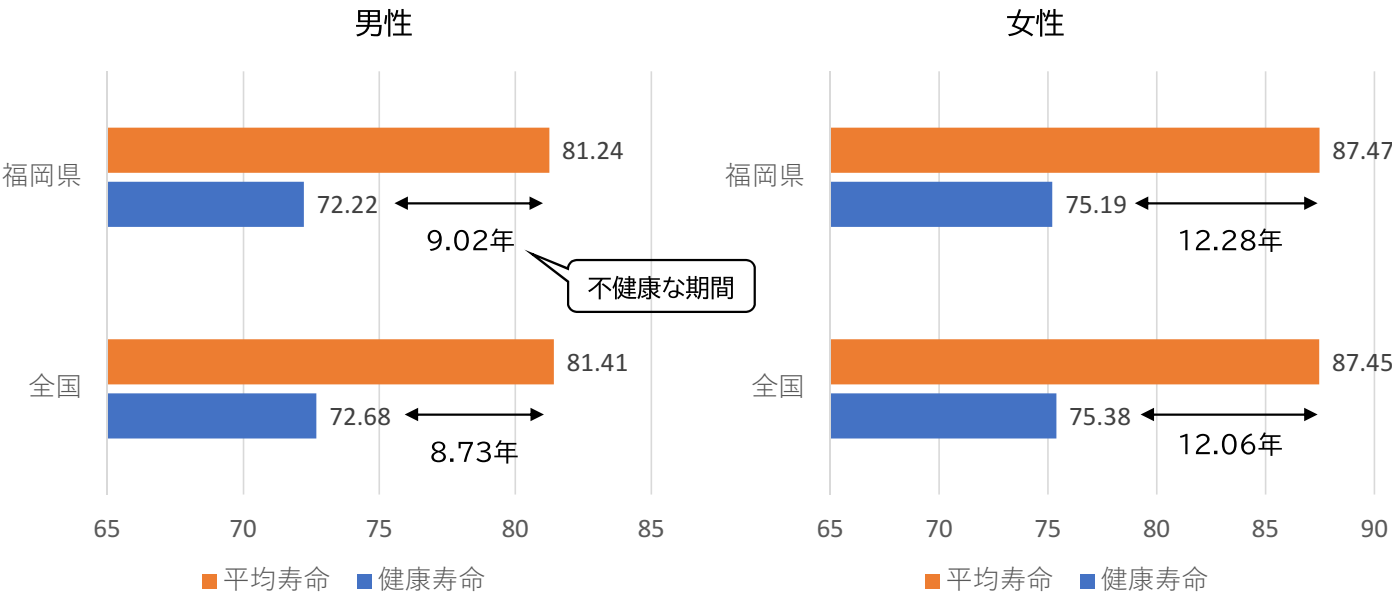
【関連データ】

表1 介護保険の第1号被保険者の認定率と一件当たりの介護給付費

	認定率(%)	1件当たりの介護給付費(円)
福智町	22.5%	68,284円
福岡県	21.2%	60,441円
全 国	20.3%	60,703円

(KDBシステム R3年度)

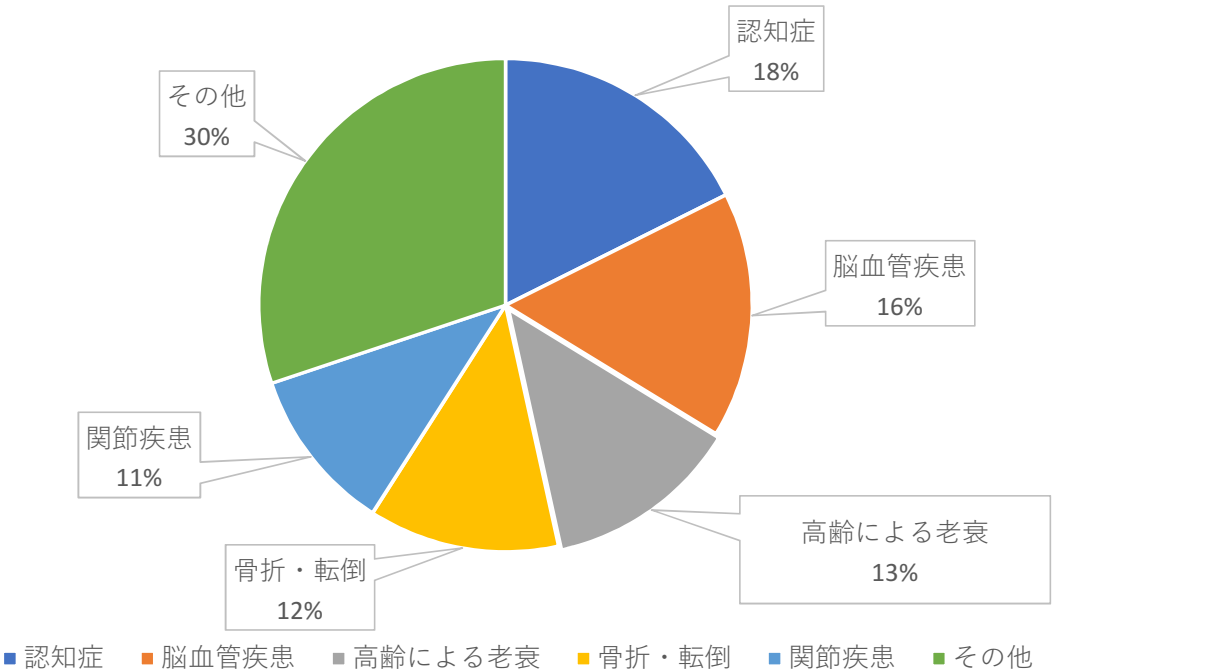
図1 平均寿命と健康寿命の比較



福岡県の健康寿命は短い 全国順位 男性 38位 女性 33位 (47都道府県中)

(厚生労働科学研究「健康寿命及び地域格差の要因分析と健康増進対策の効果検証に関する研究」)

図2 介護が必要となった主な要因



(国民生活基礎調査 令和元年度)

(2) ライフステージ別目標値

【 高齢期 】

大目標	小目標	住民ができそうなこと	関係機関ができそうなこと	福智町ができること	指標	平成２７年度 現状値	令和３年度 現状値	目標達成度 評価	福智町の 取り組み	令和８年度 目標値
健康寿命を延ばし、 生きがいをもった暮らしを 目指します	健康的な生活習慣を保持し、生活習慣病の発症予防や悪化の予防を図ります	＜セルフケア＞ ■定期的に健診を受けます ■体調不良のときは、病院に行きます ■病気の場合は、治療を続けます ＜食事・栄養＞ ■栄養バランスのとれた食事をします ＜運動・身体活動＞ ■日頃から体を動かします ■出来るだけ外を歩きます ＜メンタルヘルス＞ ■相談できる人を持ちます ■生きる糧・はりあいを持ちます ＜お口の健康＞ ■よくかんで食べ、歯みがきや口腔ケアを行います ＜睡眠・休養＞ ■十分な睡眠をとります ＜喫煙・飲酒・薬物＞ ■タバコの害を知り、禁煙に努めます ■1日の適切なアルコール量を知り、守ります	■生活習慣に関する情報提供および支援を行います 【保健福祉事務所・医師会・歯科医師会・医療機関】 ■良好な栄養状態や生活習慣の維持に関する支援に努めます 【保健福祉事務所】 ■高齢に伴う生活機能低下を防ぐための介護予防の推進に努めます 【保健福祉事務所】 ■認知症に関する正しい知識の普及啓発、相談・治療体制の充実に努めます 【保健福祉事務所】	◇健康増進事業のデジタル化を推進します 【総務課・健康子育て支援課】 ■特定健診や保健指導、がん検診を実施します 【税務住民課・健康子育て支援課・高齢障がい福祉課】 ■生活習慣病予防と介護予防について周知し、相談を行います 【健康子育て支援課・高齢障がい福祉課】 ■ロコモティブシンドロームについて周知し、その予防活動を行う食生活改善推進員と運動普及推進員の活動を支援します 【健康子育て支援課】 ■広報やホームページで健康に関する情報を提供します 【健康子育て支援課・総務課・まちづくり総合政策課】	特定健診受診率の向上	30.7%	31.7%	D	・受診しやすい環境づくり（デジタル化等） ・広報やポスター、防災無線、個別通知による健診の必要性の啓発 ・通知や電話による再勧奨 ・特定健診への意識づけの強化 ・健診費用全額補助	50.0%
	生きがい（喜びや楽しみ） を持って暮らせるような町 をめざします	＜地域づくり＞ ■地域の交流やボランティア活動に参加します ■趣味を持ち、仲間を持ちます ■地域の人がお互いに声をかけ、見守ります	■老人クラブ連合会、民生委員児童委員協議会の活動を行います 【社会福祉協議会】	■老人クラブ連合会、民生委員児童委員協議会の活動を支援します 【高齢障がい福祉課】 ■いきいきサロン（旧高齢者大学）や公民館活動等を行います 【生涯学習課】 ■サークル、ボランティア活動の周知を行います 【生涯学習課】	特定保健指導実施率の維持	80.6%	44.2%	D	・保健指導を受けやすい環境づくり（デジタル化等） ・集団健診当日に保健指導を実施 ・特定保健指導への意識づけの強化 ・指導者の資質の向上	60.0%
					BMI（*）20以下の高齢者の割合の増加の抑制	21.2%	16.3%	A	・健診結果説明時の保健指導 ・健康相談日の設定	30.0%
					1回30分以上の運動を週2回以上、1年以上している高齢者の割合の増加	男性 41.4% 女性 36.1%	男性 35.7% 女性 29.7% （40～74歳）	D	・健診結果説明時の保健指導 ・運動したくなる環境づくり	男性 51.0% 女性 41.0%
					地区組織によるロコモティブシンドローム予防活動回数の維持（運動普及推進員・食生活改善推進員活動回数）	366回	運推：コロナで中止 食進会：１回	D	・運動普及推進員や食生活改善推進員の活動の助成支援	300回
	安心して散歩や運動ができる安全な町をめざします		■ふれあい交流をおこないます 【社会福祉協議会】 ■ボランティア活動や地域づくりの支援を行います 【社会福祉協議会】	■各種教室（運動、栄養、口腔等）を行います 【健康子育て支援課・高齢障がい福祉課】	ふれあい交流開催箇所数の維持	49箇所	15箇所 （コロナの影響）	D	・ふれあい交流開催の支援	49箇所
					自主運動グループの参加者実人数の増加	183人	80人 （コロナの影響） ※1教室においては1年間休止。	D	・教室運営の助成 ・広報での周知	132人

（※）BMI(Body Mass Index):身長と体重から計算される体格指数（体重(kg)÷身長(m)の2乗）

福智町健康づくり推進協議会委員

	所 属	氏 名
1	福智町老人クラブ連合会	藤井 章
2	福智町食生活改善推進会	会長 門口 詳子
3	福智町健康づくり運動普及推進員 連絡協議会	会長 赤木 町子
4	働く世代の 特定健診継続受診者	中村 正友
5	学校教育関係者	養護教諭部会 福智町立市場小学校 和泉 聖香
6	学校教育関係者	養護教諭部会 福智町立赤池中学校 日高 寿代
7	社会福祉法人 福智町社会福祉協議会	事務局次長 中村 順吾
8	健康子育て支援課 子育て支援センター	保育士 持丸 佳奈
9	福岡県立大学看護学部	教授 尾形 由起子
10	田川保健福祉事務所	健康増進課健康増進係長 管理栄養士 松木 弥也



福智町健康増進計画

令和 6 年 3 月

発行 福智町役場 健康子育て支援課

〒822-1292

福岡県田川郡福智町金田937番地2

TEL 0947-22-3700

FAX 0947-22-3707